1 生物多様性とは

生物多様性とは、地球上に生きるすべての生きものが、さまざまな違いを持ちながら、お互いにつながって生きていることをいいます。

生物多様性には、次の3つの多様性があります。

①生態系の多様性

森林・河川・海など、さまざまな環境があること。





②種の多様性

たくさんの種類の生きものが存在していること。



③遺伝子の多様性

同じ種類の生きものでも、形や大きさなどが少しずつ違うこと。



2 生物多様性の恵み

生物多様性の恵みとは、さまざまな生きものがつながることで、私たちが毎日のくらしの中で受けている自然からの恵みです。

たとえば

毎日食べている
野菜や果物、魚やお米



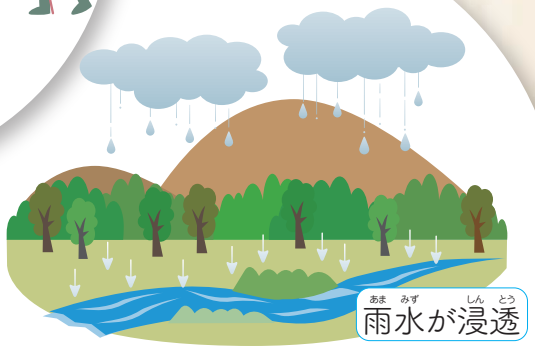
自然にふれることで
心がほっと安らぐ時間







家や学校、ノートや本に
使われている木



洪水などを防ぐ
豊な森林

私たちの身の回りの「当たり前のくらし」は、たくさんの生きものが関わり合い、自然のバランスがたもたれていることで生まれています。

しかし、このバランスが今、崩れつつあります。

3 生物多様性の危機

現在、世界中では次の4つの危機が問題となっています。

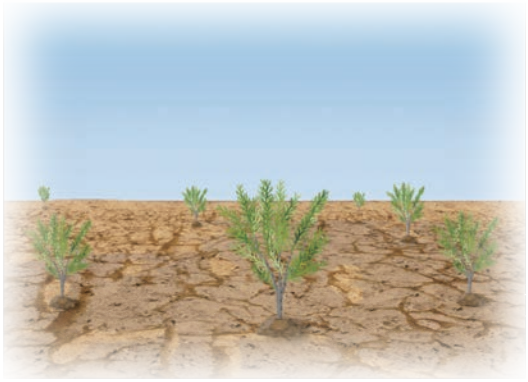
①人の活動による危機

森を切ったり、海や川をうめ立てることによって、多くの生きものが住む場所を失っています。



②自然とかかわる人が減る危機

里山や田んぼ、ため池が手入れされないことによって、人と一緒にくらしてきた生きものが減っています。



③人が持ち込んだものによる危機

他の地域から持ち込まれた生きもの（外来種）や化学物質によって、もともといた生きもののくらしが、こわされています。



④地球環境の変化による危機

気温の上昇や異常気象による、環境の変化によって、多くの生きものが影響を受けています。



杉並区 環境課

4 生物多様性を守るために私たちにできること

生物多様性の危機は、私たちのくらしと深くつながっています。
だからこそ、当たり前のくらしを守るために今日からできることをやってみませんか？

①生きもののおうちを大切にしよう

・公園や川をよごさない
・庭やベランダで植物を育ててみる



②自然ともっと仲よくなろう

・身近な自然や生きものを見てみる
・自然を守る活動に参加してみる



③生きもののくらしを守ろう

・ペットは最後まで責任をもって飼う
・洗剤や薬品を使いすぎず、水をきれいに保つ



④地球にやさしいくらしをしよう

・使わない電気はこまめに消す
・物は長く使えるものを選ぶ



生物多様性を守ることは、生きもののつながりを守り、私たちの未来を守ることです。
一人ひとりの小さな行動が、大きなつながりを支えています。

杉並区 環境課

5 杉並区の自然を知る

杉並区では、約2,400種類の動植物が確認されています。
身近な公園や川、街路樹の足元にも、たくさんの生きものが暮らしています。
こうした身近な生きもの同士のつながりが、杉並区の自然を形づくっています。

杉並区に生息している生きもの


アワセグモ


ニホントカゲ


クチナシグサ


カワセミ


マユタテアカネ


オニノヤガラ

杉並区では、区内の自然環境の変化や生きもののすみかを把握するため、自然環境調査を継続的に行っています。

杉並区の自然を「知ること」が、未来の自然を守る第一歩です。

区公式ホームページ「自然環境調査」

杉並区 環境課